

👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

愛菜ファーム 株式会社

<http://aisaifarm.jp/index.html>

GLOBALG.A.P.

トマト

【基本情報】

所在地：長崎県諫早市 構成員：社員30名（契約社員を含む）、作業員120名（季節雇用含む）

- 事業内容…農産物生産・販売，農作業受託，集出荷事業受託
- 農場概要…経営面積：47.3ha（露地野菜37.3ha，施設野菜10ha）
（H30作付品目：トマト（ミニトマト・大玉トマト）8ha，たまねぎ10ha，にんじん12ha，小松菜0.6ha，その他）
- 経営理念…「安全・安心・新鮮で愛を育む美味しい野菜の提供！」



【G A Pの取得のきっかけ】

- ◆安全性の担保
- ◆世界に通用する野菜の生産



2011年認証取得
GLOBALG.A.P.

【GAP認証取得で苦労したこと】

- ◆リスク評価（食品安全・農作業安全等）
 - ・作業や現場等のリスク評価（掘り起こし）
 - ・リスク評価に基づくマニュアルやルールづくり
 - ・日々の各作業現場の管理や農作業等の記録
- ◆社員（作業員）の意識改革
 - ・なぜGAPが必要なのか社員の意識改革
 - ・作業員への統一された指導や作業手順とルールへの習熟



【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

- ◆社員・作業員の意識が変わった
 - ・社員等が自ら何をすべきか考え意識するようになった。
 - ・国際基準のGAPにより、当社が目指す「安全性の担保」と「世界に向けた野菜づくり」に繋がっている。
- ◆輸出の取り組み
 - ・平成26年から輸出を開始。自社ブランド「愛果菜」の信頼性の向上（主な輸出先：香港、シガポール）。
- ◆安心安全の担保
 - ・問題を迅速に発見し被害を最小限に抑えることができる。
 - ・常に自分たちで見直し、改善していくことで、安全・安心の確保と現場に合った体制が構築できている。



👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

アリアケファーム 株式会社

GLOBALG.A.P.

たまねぎ

【基本情報】

所在地：長崎県諫早市 構成員：社員7名、作業員（周年雇用：12名、季節雇用20名）
(農場概要)

経営面積：57.6ha

(H30作付品目：たまねぎ41ha, にんじん8ha, ｷﾞｬｯ8ha, 長ねぎ3ha, しょうが0.6ha)

(経営理念)

「お客様が求める野菜づくり、信頼される安全性の担保、定品質・定価格・定量産」



【G A Pの取得のきっかけ】

- ◆安心安全の担保
- ◆市場ニーズへの対応



2009年認証取得
GLOBALG.A.P.

【GAP認証取得で苦労したこと】

◆リスク評価（食品安全・農作業安全等）

- ・各農作物毎の作業等のリスク評価（掘り起こし）
- ・生産から出荷までの各種作業等のマニュアルやルールを自分達で考え構築する

◆作業員への意識付け⇒農業を知らない作業員

- ・GAPの取り組みの意味（必要性）をキチンと理解させる必要がある



経営理念を目指した
「見える化」



【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

◆作業員の意識の変化

- ・GAPの取り組みを理解し、社員や作業員が自ら何をすべきか考え意識するようになった。
- ・農業に対する考え方そのものが大きく変わった。
- ・当社が目指している安全性の担保、定品質・定量産に繋がっている。

◆安心安全の担保

- ・生産から出荷までの営農活動全般のトレーサビリティが構築された。

◆労働環境の整備

- ・作業員との意見交換等により、意見を取り入れることで必要とされる環境整備、現場に合った農作業事故の防止に向けた対策など、互いの信頼関係が強くなった。



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

有限会社 田中農園

JGAP

ほうれんそう・みずな・こまつな

〈基本情報〉

所在地：長崎県島原市
構成員：23名（役員 3名、従業員 20名）
栽培面積：7ha（ハウス：5ha、露地2ha）
（作付品目：ほうれんそう、みずな、こまつな）

【経営理念】

- 「美味しい健康・安全な野菜生産を通じて、地域生活の充実に貢献する」
- 「明るい楽しい社会の中で、規律のある職場を通じて、生活の安定・職場づくりに邁進する」
- 「日本一の野菜づくりに邁進する」



【GAPの取得のきっかけ】

◆輸出やビジネス面での信頼度の向上

➡ **JGAP青果物2016**
(2019年1月認証取得)

【GAP認証取得で苦労したこと】

◆作業員への意識付け

・農薬や道具の整理・整頓など、農業を生業とし食品を扱う上で「当たり前のこと」が出来ていなかった。



【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

◆安全管理・意識改革

・食品安全だけでなく、安全な農作業など、従業員の意識改革ができた。

◆品質の管理・向上

・どの圃場で収穫し、誰がパッケージを行い、どこの取引先に納品したか等を、全てデータ管理することでトレーサビリティを構築し、品質管理・向上に繋がっている。

◆輸出の取り組み

- ・平成26年から「素肌美人」「贅沢野菜」の自社ブランド名で香港へ輸出。平成29年からマレーシアやシンガポールへも販路を拡大。
- ・GAPを取得したことで、海外での優位販売ができるようになった。



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

JR九州ファーム株式会社 松浦事業所

GLOBALG.A.P.

アスパラガス・ブロッコリー

〈基本情報〉

所在地：長崎県松浦市

構成員：正社員4名、期間契約社員24名（うち外国人技能実習生研修生10名）

栽培面積：5.2ha（R元作付品目：アスパラガス3.3ha,ブロッコリー1.9ha）

【経営理念】

「地域に入り、その土地の良い物をしっかり掘り起こし、地域農業の活性化をめざす」

JR九州グループの「安心・安全」の理念を守り、グローバルスタンダードの営農



【GAPの取得のきっかけ】

◆ **JR九州ブランドの**
「安心・安全」の証明



2019年3月認証取得
GLOBALG.A.P.

【GAP認証取得で苦労したこと】

◆社員・作業員への意識付け

- ・GAPの取り組みの意味（必要性）をキチンと社員や作業員に理解させる必要がある。

⇒ **全員でGAPの基礎を勉強**

- ・各農作業の流れ中で、ルールと取り組みの意味を伝え、現場にあった内容にする必要がある。

⇒ **各農作業の手順やルールなどを現場に落とし込む**



【GAP認証取得による効果や改善されたこと】

◆作業員の意識の変化 ⇒ **安心・安全の担保**

- ・GAPの取り組みをキチンと理解し、自らが何をすべきか考え、意識するようになった。
- ・生産から出荷まで、食する物を生産する会社として、農作業だけではなく、自分たちが携わった農作物への安心・安全に対する意識付けとして非常に効果があった。

◆労働環境の整備

- ・作業員との農作業等の安全に関するコミュニケーションがとれ、一緒にリスク評価を振り返り、見直していくことで互いの信頼関係が強くなった。



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

栗原ねぎ

JGAP

ねぎ

<基本情報>

所在地：長崎県雲仙市国見町多比良戌1448-39
構成員：12名（家族4名、パート2名、研修生6名）
栽培面積：ねぎ 8ha（周年栽培）

【経営理念】

豊かな土と水で作物をつくり、安定した農業経営を確立し、地域の活性化に貢献します。
安全・安心な食の供給の担い手として、また持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。



<GAP認証取得のきっかけ>

○香港及びシンガポールにおいて「雲仙栗原ねぎ」※が商標登録されたこと。※雲仙市の雲仙ブランド（2019認定登録）
○OGAP認証を取得している知人の勧めをきっかけに、**輸出を視野**に入れ、JGAP認証を取得。

⇒ **令和2年8月 JGAP個別認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと・取得後の課題>

○OGAPの取組に対する**従業員の理解・意識改革**。
○パートや研修生に**細かなリスク対策を自ら実践**して見本を示すこと。
○**膨大な書類作成**。
○OGAPの取組を理解してくれる契約出荷先の確保。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○**農業安全に対する意識が向上**し、使用する水や流通手段などに対しても**リスク管理**をするようになった。
○県内外の**スーパーや大手食品企業との取引が増加**。
○**取引小売店の農産物の仕入れ基準の審査が免除**。

【今後の意向】

○『雲仙栗原ねぎ』の**知名度向上**
○**輸出**による販路拡大



<問合せ先>

TEL：0957-78-5350
URL: kuriharenegi.com

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

生産組合 鷹博農園

JGAP

レタス・サニーレタス・
リーフ・キャベツ

<基本情報>

所在地：長崎県雲仙市愛野町甲3378-6

構成員：6戸

栽培面積：43ha（レタス25ha、サニーレタス5ha、リーフ3ha、キャベツ10ha）

【基本理念】

雲仙の肥沃な大地と清新な水でレタス、サニーレタス、リーフ、キャベツを育て、安定した農業経営を確立し、農業の活性化に貢献する。

[行動指針]

消費者に安全・安心な農産物を提供すべく、野菜の品質向上に努め、相互の連絡協調と経営の合理化を図り、組合員の所得向上と次世代へ受け継がれる人材育成を行いながら、生産振興を期することを目的とし、食の供給の担い手として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。



<GAP認証取得のきっかけ>

○大手契約先からGAP認証取得の要請を受けた際、GAP指導員研修等の受講経験から知識があったことと、**長崎県**から**JGAP認証取得の後押し**を受けたこと。

⇒ **令和2年9月 JGAP団体認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- **狭い段々畑が多数**（400筆程度）あり、**圃場管理の記録が膨大**
- 農薬散布、肥料散布及び資材などの**管理記録のデータ化の徹底**
- 捨てる物は捨てるのマニュアル作成



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- **農薬・肥料の無駄が減り**、経費削減。
- 既存経営がリセットされ、GAPに基づく**新たな経営への転換**。
- **様々なデータが蓄積**され栽培管理へ活用。

【今後の意向】

- **輸出**を目標に、**GLOBALG.A.Pの認証取得**。
- 更なる規模拡大及び販路拡大により、次世代へ繋げる。

<問合せ先>

TEL : 0957-27-5422

